

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月29日

協議会名: 鳩山町地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
(株)越生タクシー	<p>デマンド型交通「はとタク」</p> <ul style="list-style-type: none"> ●営業区域: 鳩山町全域+町外乗降所(毛呂山町埼玉医大・坂戸市につき商業施設3箇所・北坂戸1箇所) ●運行日: 毛呂山町埼玉医大行きは祝日及び年末年始を除く月曜～土曜、その他は祝日及び年末年始を除く毎日 ●運行時間帯: 埼玉医大行きは7時～、その他は8時～17時 ●運賃: 町内200円、坂戸市につき300円、北坂戸600円、毛呂山町埼玉医大600円 	<ul style="list-style-type: none"> ●住民を巻き込み、自分事化するような仕組みを検討していただきたい <p>⇒新たに作製した「地域公共交通マップ」は、町HPに公開しただけでなく、住民全員に鳩山町の公共交通施策を知っていただくため、全戸配布を行った。また、高齢者等のデジタルディバイド対策として、インターネット予約の方法等を活用いただくために定期的にスマホ活用教室を開催している。</p> <p>⇒地域の多様な輸送資源を活用するため、福祉輸送事業、ファミリーサポート事業などと連携して、地域公共交通マップで紹介している。介助が必要な方など、自分に合った移動手段を選択できるようにPRしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●定量的な目標を示し、関係者と情報を共有しながら進めていただきたい。 <p>⇒鳩山町地域公共交通計画を令和5年度末に鳩山町地域公共交通会議で協議し、策定しました。その中に評価指標(数値目標など)を設定し、同会議で進捗管理を行っている。</p>	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A <ul style="list-style-type: none"> ●デマンドタクシー「はとタク」の利用者数 目標: 25,000人 実績: 26,126人 分析: 過去最高の利用者数となった。これは、住民等への周知、啓発が浸透しつつあり、順調に利用者が増加傾向にあると考えられる。 <p>収支率 令和5年度: 14.72% 令和6年度: 15.99%</p>	<p>デマンドタクシー「はとタク」については、鳩山町地域公共交通計画に定める目標値を達成していますが、更なる利便性の向上のため、令和6年10月より埼玉医大便の土曜日運行を開始しています。</p> <p>また、台風や大雪等の際に、デマンドタクシーの運行が困難になった際に、町と運行事業者が協力し、町公式HP、SNSを通じ、迅速に住民に情報を提供できるように引き続き実施していきます。</p>

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>地域公共交通マップの全戸配布に取り組み、利用者数の目標を達成されたことを評価する。引き続き、利便性向上を図り、利用者数の増加に努められることを期待する。</p> <p>第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デマンド交通で乗車人数が目標を達成されたことは素晴らしい。 ・特定少数の利用者が繰り返し利用しているのではなく、導入の目的を達成しているかを検証するため、延べ乗車人数以外のデータも確認することなども検討していただきたい。
-------------------------	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和6年12月17日

協議会名: ときがわ町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社越生タクシー	ときがわ町乗合タクシー	稼働率30%の目標達成について評価していただき、今年度についても継続した運行が実施できていると考える。	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A 目標稼働率30%以上に対して57.82%の稼働率となり、計画のとおり結果となった。 また、町西部の交通空白地帯の解消ができた。	2024年問題等に係る運転士の拘束時間の問題がある。運行を安定して継続させる事が今後の課題と考える。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>運行継続に取り組み、稼働率の目標を達成されたことを評価する。</p> <p>引き続き、持続可能な公共交通ネットワークの構築に努められることを期待する。</p> <p>第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・稼働率が増加した要因(外出の増加、自家用車利用からの転換、路線バスからの転換等)を分析し、把握することも検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。
-------------------------	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月30日

協議会名: 加須市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
事業者名: 朝日自動車(株)	【シャトルバスの運行】 新古河駅西口～済生会加須病院	<ul style="list-style-type: none"> ・シャトルバスの利用促進を図るため、一定期間(R6.3.16-R6.3.23)の利用料金を無料とすることで、シャトルバスを利用しようとするきっかけづくりを行った。 ・乗降調査を令和6年7月、8月の3日間実施し、利用実態の把握と利用者の意見を伺った。 ・コミュニティバスの運行改善シミュレーション委託を実施し、運行等の見直しについて、検証している。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ●計画に位置付けられた事業は適切に実施された。 ・市の北部から南部までを結ぶシャトルバスの運行により、市内の鉄道間の連携及び市の一体性が図られている。 ・各フィーダー系統については、利用状況や意見等を踏まえて必要に応じ改善を図っている。 	<p>C</p> <p>令和6年度の1日平均利用者は15.6人であり、前年度の14.9人よりも増加したが、目標である30人に対する達成割合は52.1%であった。</p>	<p>コミュニティバスの運行改善シミュレーション分析、市民ニーズや利用状況を分析の上、運行経路やバス停留所の見直しについて検証し、より利用しやすいシャトルバスの運行改善に努める。</p>
事業者名: 朝日自動車(株)、加須タクシー(株)、騎西タクシー(有)	【デマンド型乗合タクシーの運行】 加須市全域及び久喜市内栗橋駅西口	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド型乗合タクシーの更なる周知のため、引き続き市ホームページ(https://www.city.kazo.lg.jp/so-shiki/seisaku_chousei/koutsuu/4889.html)において情報掲載を行った。 ・コミュニティバスの運行改善シミュレーション委託を実施し、運行等の見直しについて、検証している。 ・利用促進のため、自治協力団体の集会等に出向き、デマンド型乗合タクシーの利用登録会を実施した。 	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ●計画に位置付けられた事業は適切に実施された。 ・市全域等におけるデマンド型乗合タクシーの運行により、交通弱者の移動手段の解消が図られている。 ・各フィーダー系統については、利用状況や意見等を踏まえて必要に応じ改善を図っている。 	<p>B</p> <p>令和6年9月末時点での利用登録者数は、18,639人であり、前年度の17,670人より増加し、目標である18,500人を達成した。 令和6年度の1日平均利用者は126.1人であり、前年度の113.5人よりも増加したが、目標である160人に対する達成割合は78.8%であった。</p>	<p>コミュニティバスの運行改善シミュレーション分析、市民ニーズや利用状況を分析の上、運行方法等の見直しについて検証し、より利用しやすいデマンド型乗合タクシーの運行改善に努める。</p>

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>乗降調査や利用登録会の実施などの取組は評価できるが、1日平均利用者数の目標は未達成となった。引き続き、利便性向上を図り、必要に応じた改善に努められることを期待する。</p> <p>第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・導入している交通によって市民の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。
-------------------------	---

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月29日

協議会名: 寄居町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
有限会社本間タクシー 株式会社桜交通 大信観光花園有限会社	「愛のリタクシー」 運行方式:フルデマンド型乗合タクシー 運行区域:町内全域 運行日:毎日(12/29~1/3を除く) 運行時間帯:8時~17時 料金:300円/人・回	寄居町地域公共交通計画に掲げる定量的な目標についての中間評価を行うため、利用者アンケートを実施した。 また、予てより声の多かったデマンド型乗合タクシーの町外便を実証的に運行した。	A 計画どおり適切に実施した。	R6 (R5.10~R6.9) 事業 ○目標 ・利用者数…44.6人/日 ・収支率 …16.5% ○達成状況 ・利用者数 46.3人/日 ・相乗り率 55.4% ・収支率 15.4% ・収支差 23,373千円 (運行経費 27,626千円) (収益 4,253千円)	利用者数は目標を達成したが、収支率は未達成となった。年間利用者数が前年度比約250人の増となり収益は回復基調にあるが、人件費や燃料費等の高騰により運行経費が増加しており、収支率は前年度を下回った。 利用者数増及び収支率の改善のため、制度の積極的な広報活動や利便性向上の案を検討、実施し引き続き利用しやすい環境づくりを行い、効率的な運行を検討していく。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	利用者アンケートの実施に取り組み、利用者数の目標を達成されたことを評価する。 引き続き、利便性向上を図り、利用者数の増加に努められることを期待する。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・デマンド交通で乗車人数が目標を達成されたことは素晴らしい。 ・導入している交通によって町民の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。
-------------------------	---

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月15日

協議会名: 毛呂山町地域公共交通活性化協議会
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社越生タクシー	①毛呂山町コミュニティバス(もろバス)「ゆず号1コース」 系統: 役場～鎌北湖～役場(17.5km) 運行回数: 4回/1日 ②毛呂山町コミュニティバス(もろバス)「ゆず号2コース」 系統1: 役場～もろびとの館～役場(19.5km) 系統2: 役場～もろびとの館～役場(9.9km) 運行回数: 系統1 2回/1日 系統2 1回/1日 運賃: 100円	住民アンケート調査等の各種調査や過去のもろバスの運行実績、地域状況の結果等から分析した公共交通課題に対応するため、地域公共交通のマスタープランとなる「毛呂山町地域公共交通計画」を令和6年3月に策定した。特にアンケート等で要望が多かった、コミュニティバスの運行頻度について、現行の3台での運行から5台に増やすことで、運行改善を行う予定であり、令和7年4月1日の運行開始に向け調整を行っている。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置付けられた目標を一部達成することができた 【目標】 ①利用者数 121人/1日 ②往復利用者割合 72% ③利用者満足度 60% 【実績】 ①利用者数 86.4人/1日 ②往復利用者割合 72.5% ③利用者満足度 37.8% ※1 ①は運行実績、②③はもろバス利用者アンケート(n=120)より集計 【分析】 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による生活様式の変化の影響により、R2年度から利用者数の減少が続いていたが、コロナ禍が明けたことにより、少しずつ利用者数の回復傾向(対前年比109.5%)が見られるものの、目標達成には至っていない。往復利用者割合については、前年度から5.6%の上昇が見られ、今年度は目標を達成することができた。利用者満足度(アンケート結果より、もろバスの運行に「大変満足・満足」と答えた人の割合)については昨年度から3.5%減少し、目標達成に至らなかったものの、「大変不満・不満」と答えた人の割合は13.5%、「普通」と答えた人が48.7%となっていることから、「不満」よりは「満足」と答えている人の割合が多い結果となった。	令和4年度に実施した町民アンケート、高齢者アンケート等の結果より運行頻度に不満を持っている人が多いことがわかり、直近(令和6年12月)実施のアンケートでも同様の結果となった。また、循環コースによる往復利用のしづらさも課題となっている。これらの課題に対応するため、令和7年4月1日にコミュニティバスの運行見直しを予定しており、運行台数の増加による各停留所から運行頻度の向上や、往復コースを中心とした運行ルートの変更など、利用者数の増加や満足度の向上に繋がる施策を実施する予定である。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	住民アンケート調査などの取組は評価できるが、利用者数の目標は未達成となった。引き続き、運行形態の見直しを進め、利便性向上に努められることを期待する。第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・導入している交通によって市民(町民、村民)の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。
-------------------------	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月20日

協議会名: 本庄市交通政策協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の 事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点 (特記事項を含む)
朝日自動車(株)	デマンド型交通「はにぼん号」 営業区域:本庄北地域 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:300円	利用者数の目標未達成につき、路線の再編やダイヤ、運行方法の見直しの議論を行い、周辺環境や行動特性の変化などに対応すべきとの評価結果を受けた。 これを受け、デマンドバスの運行形態の見直しを令和6年度地域公共交通計画に位置付け、令和7年3月のデマンドバス予約システムの構築に向けた準備を進めるとともに、デマンドバスの①利用者数、②予約不成立件数、③収支率について定量的な目標を定めた。	事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	A	事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標①:利用者数(10,604人) 実績:10,653人 分析:利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少傾向にあったが、令和6年度はコロナ前の水準に戻りつつある状況で、昨年度に比べ、利用者数は増加している。 目標②:予約不成立件数(900件) 実績:700件 分析:予約不成立件数は、住民主体で地域支え合いを考える「協議体」と連携し作成したチラシを配布し、デマンドバスの予約の繋がりがやすい時間帯を周知したことにより、予約不成立件数は減少している。 目標③:収支率(5.8%以上) 実績:5.9% 分析:利用者数の増加に加え、国庫補助金の増額により、収支率は改善している。
	デマンド型交通「はにぼん号」 営業区域:本庄南地域 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:300円			A	
	デマンド型交通「はにぼん号」 営業区域:児玉市街地 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:300円			A	
	デマンド型交通「もといずみ号」 営業区域:児玉山間地域 運行日:月曜～土曜 運行時間帯:8時～17時 運賃:300円			A	
					デマンドバスの予約システムの改善が課題であり、AIを活用したデマンドバス配車システム等の「AIオランダ型交通システム」を令和7年3月に導入し、利便性向上のための改善を図る。

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
本庄観光(株)	<p>本庄シャトル便「はにぼんシャトル」 系統: 本庄駅南口～本庄早稲田駅北口(3km) 運行回数: 13. 5回/日 運賃: 200円</p>	<p>利用者数の目標未達成につき、路線の再編やダイヤ、運行方法の見直しの議論を行い、周辺環境や行動特性の変化などに対応すべきとの評価結果を受けた。 これを受け、シャトルバスの時刻表の定期的な見直しを令和6年度地域公共交通計画に位置付けるとともに、シャトルバスの①利用者数、②収支率について定量的な目標を定めた。</p>	<p>A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。</p>	<p>A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 目標①: 利用者数(10,323人) 実績: 12,865人 分析: 利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、減少傾向にあったが、令和6年度はコロナ前の水準に戻りつつある状況で、昨年度に比べ、利用者数は増加している。 目標②: 収支率(18.1%以上) 実績: 21.6% 分析: 利用者数の増加に加え、国庫補助金の増額により、収支率は改善している。</p>	<p>シャトルバスの時刻表の定期的な見直しが課題であり、令和4年10月1日から、新幹線の到着時間に合わせた時刻表への見直しを行っており、利用状況を確認しながら、利便性向上のための改善を図る。</p>
<p>地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)</p>	<p>デマンドバス予約システムの構築や時刻表の定期的な見直しに取り組み、利用者数の目標を達成されたことを評価する。 引き続き、利便性向上のための改善を図ることを期待する。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・デマンド交通で乗車人数が目標を達成されたことは素晴らしい。 ・導入している交通によって市民(町民、村民)の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。</p>				

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議会名: 深谷市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)	
花園観光バス(株)	<p>【R5.10.1～R6.9.30】 北部シャトル便:</p> <p>①深谷駅北口ー深谷警察署(西)、大寄公民館ー渋沢栄一記念館ー旧渋沢邸「中の家」</p> <p>②深谷駅北口ー新井郵便局前、福寿荘前ー新戒</p> <p>(車両減価償却費等国庫補助金申請系統)</p>	<p>・市民アンケート、公共交通利用者ヒアリング調査の実施</p> <p>・深谷市地域公共交通計画(及び公共交通網形成計画)の進行管理</p>	A	<p>計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>◎各目標値はR6年度計画策定時(R5.6)の現行計画である「深谷市地域公共交通網形成計画」にて定めたものになっています。</p> <p>【目標1:利用者数の増加】 (目標)75,273人 (実績)51,646人 ※昨年度実績 44,829人</p> <p>【目標2:利用者満足度の向上】 (目標)利用者アンケートで各項目とも前年度調査以上の満足度(実績)13項目中、13項目達成</p> <p>【目標3:収支率の向上】 (目標)17.5% (実績)9.3% ※昨年度実績 7.9%</p> <p>利用者満足度は全項目で目標を達成できた。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により減少した利用者数は、利用者数・収支率共に順調に回復している。今後も感染症対策に配慮した安心・安全なコミュニティバス運行を継続する。</p> <p>今後は令和6年3月に策定した「深谷市地域公共交通計画」に基づく進捗管理を行っていくこととなるが、引き続き地域における望ましい公共交通ネットワークを示すため、安心・安全なコミュニティバス運行に努めるとともに、利用者満足度の更なる向上を目指し、適宜路線再編やサービスの改善等を実施していく。</p>
深谷タクシー(有)	<p>【R5.10.1～R6.9.30】 南部デマンド</p>	<p>・深谷市コミュニティバス「くるりん」再編計画の進行管理</p> <p>・深谷市コミュニティバス「くるりん」デマンドバス再編計画の進行管理</p>	A	<p>計画どおり事業は適切に実施された。</p>	<p>利用者数及び収支率は共に当初設定した目標を達成することはできなかったが、昨年度と比較して大きく改善が見られており、利用状況の改善に向け順調に事業進行していると思われる。</p>	

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>市民アンケートや公共交通利用者ヒアリング調査の実施などの取組は評価できるが、利用者数の増加及び収支率の目標は未達成となった。引き続き、利便性向上を図り、利用者数の増加に努められることを期待する。</p> <p>第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・導入している交通によって市民の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。
-------------------------	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月29日

協議会名: 白岡市地域公共交通確保維持改善協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
昭和タクシー有限公司	<p>【「デマンド交通」のりあい交通】</p> <p>事業者名: 昭和タクシー 運行区域: 白岡市内及び蓮田病院 運行日: 月曜～土曜(祝日、年末年始運休) 運行時間帯: 8時30分～17時30分 運行本数: 9便/日 運行車両: セダン型車両 運賃: 500円(障害者、小学生は300円、乗り合い利用の割引制度あり)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットの全戸配布を行い、のりあい交通の制度の周知を図った。 ・二十歳のつどい式典において、参加者へのりあい交通を紹介したチラシを配布するとともに、市公式ホームページや窓口等において通年で周知啓発を図った。 ・市民ニーズに対応するため、目的地を随時追加した。 	B 事業が計画に位置づけられたとおりに実施されていない点があった。	B 事業が計画に位置づけられた目標を達成できない点があった。 【目標】 ①1日当たりの利用者数 目標: 46人 ②のりあい交通収支率 目標: 18% ③便別利用者数 目標: 便別利用者数は1便～3便で特に多いため、4便～9便についての定着及び現状以上の利用促進を図る。 【実績】 ①1日当たりの利用者数47.6人 ②収支率15.8% ③4便～9便の利用者は、前年に比べ全ての便において同等かそれ以上となった。 【分析】 午後の時間が進むにつれ利用者が減少している。病院や買い物での利用が多く午前中に外出する人が多いものと考えられる。	<p>午前中は利用者が多く、予約不成立となることもある一方で、午後の便は予約が埋まらない時間帯があるなど、利用時間の偏在が継続的な課題の一つとなっている。</p> <p>また、のりあい交通の周知と利用促進を図るため、市広報紙等での案内や、イベント等でのPR活動を実施し、幅広い市民に向けた周知を行う。</p> <p>引き続き、市民ニーズを的確に把握し、目的地を追加するなど、利用者にとってより利便性の高いものにしていく。</p>

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>リーフレットの全戸配布等周知活動に取り組み、1日当たりの利用者数の目標を達成されたことを評価する。</p> <p>引き続き、利便性向上を図り、市広報紙等での案内や、イベント等でのPR活動を実施し、幅広い市民に向けた周知に努められることを期待する。</p> <p>第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が増加した要因(外出の増加、自家用車利用からの転換、路線バスからの転換等)を分析し、把握することも検討していただきたい。 ・導入している交通によって市民の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。
-------------------------	---

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月14日

協議会名: 小鹿野町地域公共交通会議
 評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
秩父丸通タクシー株式会社	運行系統名:小鹿野伊豆沢長若乗合タクシー 小鹿野町の交通空白地域を運行し、西武秩父駅及び秩父駅から町内へ運行している西武観光バス小鹿野線の複数の停留所と接続し、さらに町営バスとの接続や地域内の高齢者、障害者を中心とした利用者への利便性を図るものである。	前回の評価結果では、現状の運行体制を維持し、利用促進のためのPRを行うこと及び、現状で運行していない交通空白地域等にも運行エリアを拡大するなど、運行体制の見直しを行うこととしていた。令和2年度に両神地区の乗降ポイントの追加や当日予約の開始ができるように変更を行い、利便性を向上させ、利用者を増加することが出来た。また、77歳以上バス優待券申請時や広報誌への掲載、シルバー学級など高齢者が集う場所へ出向き乗合タクシーのPRを実施した。公共交通空白地域等における運行範囲の拡大については、当地域が他市町村との連携による運行の可能性があることや、町全域が過疎地域に指定されており、交通空白有償運送の活用ができるため、人口減少等による公共交通のあり方の見直しの時期でもあることから、乗合タクシーに限らず、公共交通全体の見直しを行う中で適切な運行範囲の見極めを行うこととする。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	B 事業が計画に位置づけられた目標を達成出来なかった。 【目標】 年間利用者数3,050人 登録者数18%(約100人) 77歳以上登録者数15%(約64人増) 【実績】年間利用者数2,790人 新規登録者数52人うち77歳以上登録者33人 【分析】 今年度はいずれも目標値に達することは出来なかったが、登録者数、利用者数も着実に増えてきており、特に令和6年4月以降の利用者数は増加している。今後も引き続き定期的な広報掲載や老人クラブ集会等に出向き広報活動を実施し、利用者のロコミにより利用者増を目指していく。	【特記事項】 従来は、電話受付のみの体制であったが、予約受付にAIシステムを導入したことで利用登録者の管理や運行上のルート選定、走行データの収集等、格段に業務効率が向上した。また利用者への時間案内もより正確になった。 【今後の課題】 予約システムはスマートフォンからの予約にも対応しているが、依然として当町は高齢者が多いことから受付は電話対応が主である。しかし高齢者に対しても昨今のDX化の恩恵を受け、より暮らしやすい日々を送っていただく事が課題でもあるため、乗合予約に限らず行政の様々なサービスをスマートフォンを介して受けられるよう、高齢者向けのスマートフォン使用講習会の開催を検討している。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	広報掲載や老人クラブ集会等に出向いた広報活動などの取組は評価できるが、目標は未達成となった。引き続き、利便性向上を図り、幅広い年齢層への周知に努められることを期待する。第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。 ・生活様式に合わせて利用方法を解説する案内チラシを配布するなど、住民にとって分かりやすい周知を行うことも検討していただきたい。
-------------------------	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月22日

協議会名: 幸手市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
中田商会株式会社	コミュニティバス 「幸手市市内循環バス」 系統:中央コース(11.6km)、東Aコース(20.6km)、東Bコース(17.8km)、西Aコース(18km)、西Bコース(12.4km) 運行回数:(中央)8便/日(東A・東B・西A・西B)4便/日 運賃:1乗車(大人)200円 ※1日乗車券、割引運賃あり	「更なる周知・利用促進の取組を」との評価を受け、増加する高齢者を中心とした市民の日常生活を支える足となる公共交通網を確保するという目的のもと、目標達成に向けて市内循環バスの利用者増を図るため、下記のとおり、継続又は新規の取組を実施した。 ①希望者へのマイ時刻表の作成 ②ナビタイムにおける市内循環バスのインターネット検索環境の提供 ③民間路線バスとの乗継円滑化を図るため、停留所相互への案内表示 ④1日乗車券を利用した杉戸町町内巡回バスとの相互乗換の実施 ⑤期間中(R5.12.11~12.16)はどなたでも無料で乗ることができる、市内循環バス無料乗車キャンペーン(乗り乗りWeek)の実施	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された	A 事業が計画に位置付けられた目標を達成した。 【令和6年度目標1:年間利用者数】 (目標)26,106人 (実績)29,991人 【令和6年度目標2:利用者1人当たりの市負担額】 (目標)1,577.4円 (実績)1,379.6円 令和6年度は無料乗車キャンペーンを実施するなど、新たな利用促進の取組を行った結果、増加基調を維持し、目標を達成することができたものと考えている。 引き続き、一人でも多くの市民に循環バスを利用していただくことで、市民の通院や買い物等の日常生活を支える移動手段を確保するという役割は果たしていく。	東西コースの利用者数の伸び悩みは依然として課題となっている。 令和7年度事業においては市民まつりにおいて、循環バス車両の展示や無料乗車キャンペーンを再度実施し、循環バスの更なる周知、利用促進の取組を継続している。 それに加え、今後の当市公共交通の全体的な見直し、再編に向けて、市民により組織された「地域公共交通あり方検討会」を設置する等、一人でも多くの市民が利用できる、利用しやすい公共交通の実現に向け、現行の循環バスの形に囚われない検討を進めているところである。 以上のことから、東西コースについては、利用促進の取組に加え、現行のコース設定の見直しや定路線以外の手段も含めた検討を行い、改善を目指していく。

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	無料乗車キャンペーンの実施に取り組み、年間利用者数の目標を達成されたことを評価する。 引き続き、利便性向上を図り、現行のコース設定の見直しや検討を行い、改善に努められることを期待する。 第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。 ・利用者が増加した要因(外出の増加、自家用車利用からの転換、路線バスからの転換等)を分析し、把握することも検討していただきたい。 ・導入している交通によって市民の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。
-------------------------	---

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月30日

協議会名: 上里町地域公共交通活性化協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
株式会社協同バス	中央ルート 北部ルート 南部ルート	<p>・利用者アンケート調査、利用者OD調査については、実施した。</p> <p>・高齢者へのコミュニティバスの利用促進支援事業として実施している高齢者無料パスについては、令和4年9月に交付対象者要件を変更したことにより、今年度においても発行件数が継続的に増加し、利用者の増加にも繋がった。また、年度内2回開催の交通安全講習会において、高齢者の交通安全を啓発するとともに、バスの利用案内を積極的に実施した。</p> <p>・駅を中心とした、まちづくりと連携し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、新たな地域公共交通計画(短期計画)及び次期公共交通形態であるコミュニティバス運行計画、デマンド交通運行計画の策定に係る準備を進めた。</p>	A 事業が計画に位置付けられたとおり、適切に実施された。	B <p>事業が計画に位置付けられた目標を達成できていない点があった。</p> <p>【目標】 ①年間利用者数 21,750人 ②高齢者無料パスの発行件数 280件</p> <p>【実績】 ①年間利用者数 19,275人 ②高齢者無料パスの発行件数 313件</p> <p>【分析】 利用者数は目標値の達成に至らなかったが、昨年(17,714人)よりも約1割増と、継続的に増加している。高齢者無料パスについては、交付要件の変更により昨年度の伸び率には届かないものの、目標値を達成することができた。</p>	<p>・令和7年4月1日を以て公共交通形態が変更となるものの、現行での交通形態においては継続的に高齢者無料パスの啓発及び利用者ニーズに対応した「わたしの時刻表」を活用し、利用者数の増加を図っていく。</p> <p>・駅を中心とした、まちづくりと連携し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現に向け、令和7年4月以降の新たな地域公共交通計画(短期計画)の策定準備を進めていく。また、同作業と並行して、次期公共交通として令和7年度より再編するコミュニティバス及び新たに開始するデマンド交通の運行準備を進めていく。</p>

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)	<p>高齢者無料パスの発行などの取組は評価できるが、年間利用者数の目標は未達成となった。引き続き、利便性向上を図り、利用者数の増加に努められることを期待する。</p> <p>第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。</p> <p>・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。</p> <p>・導入している交通によって町民の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。</p>
-------------------------	--

令和6年度 地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(地域公共交通計画/生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和7年1月30日

協議会名: 飯能市地域公共交通対策協議会

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①運行事業者	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
西武ハイヤー株式会社	飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」(精明・加治地区) 系統:3系統(精明東系統・精明西系統・加治系統) 運行日:月・水・金 運賃:一律200円 車両:10人乗りワゴン(定員9人)	・道路の開通に伴い、令和7年4月1日からより利便性の高い経路へ変更する。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	C 目標① 1便当たり平均利用者数(全系統合計) 目標値 5人以上 実績値 4.00人【未達】 目標② 収支率(経常経費に対する経常収入の割合) 目標値 20%以上 実績値 13.42%【未達】 ▶利便性向上による利用者の増加、運行収入以外の収入源の確保を目指す。	・運行収入以外の収入源確保 ・キャッシュレス決済の導入
国際興業株式会社	飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」(原市場地区) 系統:3系統(①飯能駅系統・②原市場地区行政センター系統・③新寺系統) 運行日: ①③毎日、②月・水・金 運賃: ①対キロ運賃、②一律300円、③一律100円 車両: ①大型バス、②③14人乗りワゴン(定員12人)	・GTFDSデータを作成し、GoogleMapsにおける経路検索に対応した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標 1便当たりの利用者数 目標値 1.5人以上(往復3人以上) 実績値 3.41人【達成】	・運行収入以外の収入源確保
	飯能市乗合ワゴン「おでかけむーま号」(南高麗地区) 系統:2系統(①小学校系統・②南高麗地区行政センター系統) 運行日:①月～金、②月・水・金 運賃:一律300円 車両:14人乗りワゴン(定員12人)	・GTFDSデータを作成し、GoogleMapsにおける経路検索に対応した。	A 事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施された。	A 目標 1便当たりの利用者数 目標値 1.5人以上(往復3人以上) 実績値 2.74人【達成】	・運行収入以外の収入源確保

地方運輸局等における二次評価結果(関東運輸局)

一部目標は未達成ではあったものの、GTFDSデータ作成とGoogleMapsにおける経路検索対応に取り組まれ、1便当たりの利用者数の目標を達成されたことを評価する。引き続き、利便性向上を図り、運行収入以外の収入源確保に努められることを期待する。第三者評価委員会での有識者からの助言(下記)を、今後の検討の参考としていただきたい。

- ・現在取り組んでいる需要喚起策のほか、今後利用者となりうる住民等に対して新たな取組を検討していただきたい。
- ・導入している交通によって市民の活動がどのように変わってきたのか、必要に応じて副次的な効果を分析することも検討していただきたい。